六月九日(日)、第四十四回潮見が丘小学校大運動会がおこなわれました。朝方は曇り空で、少し肌寒い・・・という感じでしたが、運動会が始まる頃には青空も見えはじめ、最高の運動会日和になりました。総練習は白組が圧勝したようですが、本番は赤組が優勝。勝負はやってみなければわからないものですね。でも、勝った赤組はもちろん、負けた白組の子どもたちも笑顔いっぱいの姿が印象的でした。きっと様々なドラマがあった運動会。子どもたちのドラマを担任の先生に聴いてみました。『令和発 ドラマティック運動会』です。

Q 運動会練習でのハプニングを教えてください

A 初めて体育館でリレーをしたとき、めちゃめちゃになって、先生みんなで笑い転げてしまいました。三クラスで競っているのに、三組の子が二人走っていたり、出番を待っている子がいるのにバトンを渡さず素通りしていったり、子どもたちの姿が必死なだけに、よけいに笑ってしまいました。子どもたち、笑ってしまった先生方を許してください。ごめんなさい。

Q 練習で苦労したことを教えてください

A リーダーを中心に「自分たちで並んだり、練習したりできる」ことを目標にしていたので、口を出したくても出せません。じっと我慢です。先生方は我慢強くなりましたよ（笑）。

Q 子どもたちの成長を感じた瞬間を教えてください

A 一年生の時は、自分の並ぶ場所を覚えられずに、さまよっている子がたくさんいました。でも、今年は一回の練習でばっちり覚えることができ、感動です。お休みした子がいても、スムーズに代わりの子が走ることのできる子どもたちは「さすが、二年生！」でした。

Q 初めてのエイサーの取り組み。子どもたちのがんばりを教えてください

A 初めての練習から最後の練習まで、切り替えも早く、集中して練習していました。踊っていない時に、パーランクーをたたきたくなるのを我慢して話を聴いたり、待つことができていたのがすばらしかったです。

Q 先生が一番思い出に残ったことを教えてください

A 勝てなくても、最後まで諦めずに練習したこと。かけ声をかけ合い、とてもいい雰囲気で練習できたこと。素敵な子どもたちの姿が一番の思い出です。

運動会スローガン

396人の仲間と全力でやる笑顔いっぱい楽しい運動会

令和発 dramatic（ドラマティック） 運動会

4年生

Q 子どもたちをやる気にさせる「一言」を教えてください

A 「できないのですか？それともやらないの～？」とか、「一人はみんなのためです。みんなは一人のためにです」と、よく言っていました。

Q 先生が子どもたちから学んだことを教えてください

A 「いつ、どんな時も元気であること」「どんなに疲れても負けても、気持ちを切り替え、明るく次を見すえて行動できるところ」ですね。

5年生

Q 練習の中での「おもしろエピソード」を教えてください

A 練習中に降ってきた雨。「風邪をひくから教室に戻ろう」と担任が言っても、「もう一本だけ・・・」と頼み込まれました。そのうちに太陽が顔を出し、子どもたちは大喜び。子どもたちの熱意に神様も味方してくれたのかな。

Q 子どもたちの団結のようすを教えてください

A 運動会前日に子どもたち同士でお互いのがんばりを伝え合いました。ちょっとテンションが上がりすぎなくらいに盛り上がっていました（笑）。

6年生

Q 係り活動にもがんばる姿が印象的だった六年生。一番成長したと思うことを教えてください

A 勝敗を超えた「心のつながり」を意識できるようになったことです。

Q 「むかで競走」必勝の秘訣を教えてください

A ズバリ「心をひとつにする」です。日直の号令を一回で聴いたりする特訓の成果が出ました。

Q 晴天のために、先生が願掛けしたことがあれば教えてください

A ○○先生が晴天を願い、ずっとお酒を飲み続けてくれました。

居酒屋発 先生方のドラマティック？運動会

晴天を願って先生方で食事会をしました。六年担任はピンク色のクラスTシャツを着ての参加です。そのTシャツをまじまじと見つめていた、六年担任の隣りに座った先生。胸元にデザインされた『挑』の文字を見て、「えっ!?『桃（もも）』じゃなかったんですね・・・（笑）」完全に頭の中は「桃太郎」だったようです。